



重文「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 491-0858

ロータリーは世界をつなぐ

URL: http://rc138.org

E-Mail: rc138@lily.ocn.ne.jp

2019年10月17日
第3396回例会プログラム
ミニコンサート渡邊 浩子
野田 和美ロータリーソング「それでこそロータリー」
第3395回例会の記録
2019年10月10日(木)会長挨拶 則竹伸也
皆様こんにちは。本日のお客様は津島ロータリークラブより篠田廣ガバナー補佐、浅井彦治IM実行委員長、田中正明副実行委員長です。

2月8日(土)名鉄ニューグランドホテルで開催の西尾張分区IMのPRにお越しいただきました。

卓話の講師として土川保夫さんのご紹介で歴史研究家の平尾栄滋様をお迎えしております。後程のお話を楽しみにいたしております。

火曜日に西尾張分区親睦ゴルフ大会が開催され、当クラブからも23名出席させて頂き団体戦も第3位となり、楽しい一日を過ごさせて頂きました。ガバナー補佐をはじめ津島ロータリークラブの皆さんには本当にお世話になりました。有難うございました。

今朝は我々にも身近なリチウム電池の研究開発で吉野彰さんがノーベル化学賞を受賞されました。この嬉しいニュースを受けて調べてみましたら、日本人で初めて受賞されたのは湯川秀樹さんで、日本人受賞者は吉野さんで27名そして世界第2位だそうです。当然1位は60名を超えるアメリカですが、この小さな国でこんなにも沢山の受賞者がいることを日本人として誇りに思いました。

吉野さんが研究者にはやわらかい頭脳と執着心が必要だと話してみえましたが、年とともに我がまま、頑固になっていく自分の戒めにしたいと思います。

次回の予定

クラブフォーラム
創立70周年記念式典打合せ会 長 則竹 伸也 副 幹 事 柄倉 勲
幹 事 伊藤 幸一 副 会 長 猪子 誠児
会長レクト 光壽 賢一 会報委員長 浅野 一

ロータリーの友10月号 瀬古篤司

横組み表紙は、「喧嘩」と題されたイラストです。赤電話に赤い丸ポスト。昭和の雰囲気漂わせるレトロ感いっぱいのイラストです。続いて縦組み表紙は、1920年に世界で855番目のRC(東京RC)を創立し、日本に初めてロータリーを導入した米山梅吉のイラストです。日本ロータリーの父「Father of Rotary in Japan」と称されます。

今月のマローニーRI会長メッセージは、横組み3頁でロータリーが長年にわたって取り組んできたポリオ根絶活動について述べられています。10月24日の世界ポリオデーは、ポリオを根絶するために必要な今後の行動を計画する日であり、キーワードは「行動」と述べています。7頁から18頁には、マローニーRI会長夫妻が来日され、訪問地でのロータリークラブの歓迎や例会出席などの様子が紹介されています。18頁では本地区が主催した歓迎晩餐会と名古屋北RCの例会に出席された記事が掲載されています。

10月は米山月間で、横組み19頁から21頁で7月にモンゴルで開催された米山学友による第2回世界大会「絆 in モンゴル」の開催レポートが掲載されています。世界の米山学友がモンゴルに集まり、米山の絆と楽しさを十分に感じられる記事ですので、ぜひご一読ください。また、縦組み13頁の友愛の広場でも本地区の米山関係者20名が出席し、「米山の絆」を実感した報告が紹介されています。合わせてご一読ください。

縦組み29頁では当地区内のロータリー青少年プログラムの関係者が参加し、ロータリーでリーダーシップを学んだ青少年たちを災害時のリーダーに育成するための「学友・青少年交流シンポジウム」が開催された記事が紹介されています

委員会報告
ニコボックス

宮本 毅

☆ 篠田 廣君 浅井彦治君 田中正明君
(津島RC)

今日はIMのお願いにおじゃま致しました。

☆ 土川保夫君
本日の卓話講師に、一宮高校同窓会会員の平尾栄滋さんをお招きできた喜びです。☆ 江崎正和君
日曜日に真清田神社にて息子太陽のお宮参りに行って来ました。その節は辰宮司には大変お世話になり有難うございました。☆ 木村亮一君 浅井孝介君
先日の西尾張分区ゴルフ大会と併催の第2回IRG会には多数の皆様にご参加頂きありがとうございました。次回第3回IRG会にも多数の皆様参加をお待ち申し上げております。☆ 則竹伸也君
西尾張分区ゴルフ大会に当クラブから沢山のご参加ありがとうございます。私の3位の誉を頂き恐縮しております。(この品の無いスコア)また一宮IRG会ではなんと紅組の取切戦有資格者になった喜びです。☆ 則竹伸也君 伊藤幸一君
津島ロータリークラブ篠田廣ガバナー補佐、西尾張分区IM浅井彦治実行委員長、田中正明副委員長をおむかえして。本日の講師、平尾栄滋さんをお迎えした喜びです。出席報告
現在の会員数 113名
本日のビジター 3名
本日の出席数 72名
他クラブ席数 13名
本日の出席率 75.22%
前々回の出席率 97.93%***** プログラム *****
卓話
平尾栄滋氏(歴史研究家)
テーマ「家康と浅野長政」1. 講演の骨子
自著『徳川家康という男』にて指摘した、豊臣政権5奉行筆頭の浅野長政の裏切り行為を説明する。彼は関ヶ原の戦いでは徳川家康に与し、豊臣政権崩壊の片棒を担いだと思われる。2. 浅野長政への疑惑
秀吉に次いで、五大老の一人前田利家が死去する。この直後、家康は加賀前田利長が浅野長政らと謀り、自分を暗殺しようとしたと公言する。

これにより家康によって隠居させられ蟄居を命じられた浅野長政だが、その後の彼の一連の動きには大いなる疑惑が浮かび上がる。

長政は秀吉の正室寧々(北政所、高台院)とは義兄弟の間柄であり、豊臣政権において五奉行の筆頭の立場であった。そんな男が家康の命でやすやすと隠居するのか、さらにはそんな男を家康はただの隠居で済ますのか、という疑問だ。また、蟄居先の武蔵国府中は関八州を領国とする家康の領地であり、家康の別荘とも言える場所であった。そこで、次のような疑惑が浮かび上がってくる。すなわち、「家康が長政を誘い込み加賀前田家を陥れて豊臣政権を分断し、政権の奪取をはかった」ということだ。ことの真相が露見すれば、秀吉子飼いの加藤清正、福島正則ら猛将たちに長政がその命を狙われることになる。それで家康は、自分の別荘に匿い長政を保護していたのだ。

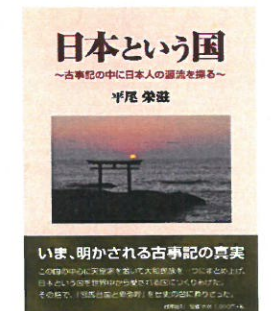
その長政は僅か一年後の関ヶ原の戦いで、東軍に加勢し秀忠の下で東山道を進んでいるのである。またこの戦いで嫡男の浅野幸長は、東軍の先鋒として岐阜城を攻略している。ちなみにこの時、岐阜城の城主は織田信長の嫡孫の信秀であった。この戦にあたって、幸長は「高台院のために戦う」という言葉を残している。高台院こと寧々は幸長の伯母にあたる女性である。この功で幸長は、紀伊の国和歌山37万石6千石へと加増転封されている。

江戸幕府が成立した後、長政は家康に近侍して江戸に移り話し相手を務めたという。そして隠居料として家康より常陸の国真壁五万石を与えられている。破格の待遇であり、まるで盟友扱いだ。あるいは口止め料だったのか。

長政が五大老筆頭の家康と親しく、秀吉没後は同じ五奉行の石田三成と犬猿の仲だったことは広く知られている。また、嫡男の幸長は七将のひとりとして三成を襲撃している。こうした事実から推量すれば、家康は長政と謀って加賀前田家を陥れ義憤に燃え立つ石田三成らを挑発して関ヶ原の戦いへと誘い込んだと考えられる。そして前田家など当事者や周囲からの疑惑の目を避けるため、長政は家康からわざと蟄居の処分を受け隠居したのだろう。家康は長政を調落して抱き込み、関ヶ原の戦いを仕組んで豊臣家から政権を奪い取ったのか。

だが、これは当方の推測であって、浅野長政に関するこのような説は未だかつて目にも耳にも聞いたことがない。それでも、状況証拠は揃っている。さらにもう一つの傍証として、五奉行のひとり前田玄以は家康に内通し本領を安堵されているのだ。このような筋書きを描いたのは家康だと考えるのが自然だが、それに乗った浅野長政は豊臣政権を家康に売り渡したのか。

しかし、ただ単に家康と長政は気が合う仲間だったのだ、との別の見方も当然できる。そして、これが従来からの見解でもある。いずれにしても秀吉亡き後、浅野長政、幸長親子は義理の妹と伯母にあたる高台院を守ろうとしていたのであって、淀君と秀頼の母子とは一線を画していたと思える。そのために家康に擦り寄ったのか。その理由のもう一つとして、秀頼は秀吉の子ではないと疑っていたとも考えられる。赤の他人の淀殿と秀頼など、長政の眼中にはなかったということか。

3. 自著の紹介
・歴史研究家として、下記の2冊を発刊。全国の書店にて購入(注文)可能。

例会変更案内

クラブ名	例会日	例会場	受付
尾西	10月21日(月)	尾西信用金庫本店	有
尾西	10月28日(月)	尾西信用金庫本店	有
一宮中央	10月30日(木)	一宮商工会議所ビル1階 (17:30~18:00)	有

※ 時間に指定のないクラブの受付は12:00~12:30です。